

1990 年から続く一般の方を対象とした哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

2022年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	5月21日[土] 午後1時30分	哲学館と西田哲学の20年ー人間像と思案の変遷を辿るー	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋
②	7月2日[土] 予定 午後1時30分	神秘主義思想家ヤーコプ・ベーメの生涯とその時代	山口学芸大学教授 山口大学名誉教授
③	7月3日[日] 予定 午前10時	ヤーコプ・ベーメの思想ー無底と戯れー	岡村 康夫
④	10月15日[土] 午後1時30分	井筒哲学入門① 禅思想の「二重の見」：三段階モデル	上智大学グリーンケア 研究所副所長（大阪） 京都大学名誉教授
⑤	10月16日[日] 午前10時	井筒哲学入門② 華嚴思想の「二重の見」：理事無礙と事事無礙	西平 直
⑥	11月12日[土] 午後1時30分	責任と非難の倫理学 人と人との関係を／から考える	金沢大学准教授 佐々木 拓
⑦	12月3日[土] 午後1時30分	夏目漱石 《だらしのない自然》のリアリズム	京都工芸繊維大学教授 伊藤 徹
⑧	12月4日[日] 午前10時	是枝裕和 傷ついた家族たち	
⑨	2023年 3月11日[土] 午後1時30分	哲学とは何か？	中央大学教授 中村 昇
⑩	3月12日[日] 午前10時	言語とは何か？	



1回からでも
気軽に参加
できる！

※かほく市民大学校の対象講座として、各回1単位を取得できます。必要な方は受付で受講カードをご提示ください。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。今後の感染状況によっては変更・中止となる場合があります。ご来場の前にホームページをご確認ください。

- 受講料** 1回：500円、年間：2,000円
- 会 場** 石川県西田幾多郎記念哲学館
- 申込方法** 住所・氏名（フリガナ）・電話番号を、葉書・電話・FAX・E-mailなどにて右記までお申し込みください。
〔各回受講〕各講座の1ヶ月前から受付を開始します。
〔年間受講〕申し込みは随時受け付けております。

※各回受講から年間受講への変更はできませんので、ご注意ください。
※講座が中止になった場合、年間受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。
※個人情報、当館主催事業に関する目的以外には使用しません。

お問い合わせ



石 川 県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail : nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
<http://www.nishidatetsugakukan.org/>



2022年度 西田幾多郎哲学講座

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学名誉教授

④ 5月21日【土】午後1時30分

哲学館と西田哲学の20年 ―人間像と思索の変遷を辿る―

■講師、講座の紹介

2022年、哲学館は開館20周年を迎えます。2002年の開館自体が西田哲学への関心の高まりを象徴する出来事でしたが、その後の20年の間で西田哲学の研究はますます盛んになり、西田幾多郎という人物に興味を持つ人も増えてきました。ここ数年の間に相次いで刊行された多くの西田関連書籍を手掛かりに、西田哲学の現在を探ります。

■専門分野

西田哲学、日本思想史

■主な著書・論文

『西田幾多郎とキリスト教の対話』（朝文社）

『西田幾多郎―生命と宗教に深まりゆく思索』（春風社）

岡村 康夫 山口市芸大学教授、山口大学名誉教授

② 予定 7月2日【土】午後1時30分

神秘主義思想家ヤーコブ・ベームの生涯とその時代

③ 予定 7月3日【日】午前10時

ヤーコブ・ベームの思想 ―無底と戯れ―

■講師、講座の紹介

ヤーコブ・ベームは17世紀ドイツの神秘主義思想家です。宗教改革の混乱とペスト禍の重なる厳しい時代に、靴屋や行商人を生業として家族を養い、生涯を送りました。キリスト教信仰の真摯な生活の中で神秘的経験に出会った彼の生涯とその時代、そして「無底」と「戯れ」という彼の思想のキーワードを巡ってお話しいただきます。

■専門分野

ドイツ神秘主義

■主な著書・論文

『無底と戯れ―ヤーコブ・ベーム研究』（昭和堂）

『シェリング哲学の蹟―『世界時代』の構想の挫折とその超克』（昭和堂）

西平 直 上智大学グローバル研究所副所長（大阪）、京都大学名誉教授

④ 10月15日【土】午後1時30分

井筒哲学入門① 禅思想の「二重の見」：三段階モデル

⑤ 10月16日【日】午前10時

井筒哲学入門② 華厳思想の「二重の見」：理事無礙と事事無礙

■講師、講座の紹介

晩年の西田は東洋の伝統思想に期待し、とりわけ、華厳思想の「事事無礙」という考え方に注目していました。イスラム研究者としても有名な井筒俊彦の華厳理解を手掛かりに、この「事事無礙」の知恵を学びます。専門家にとってもスリリングなテーマですが、高校生でも楽しめるように分かりやすくお話しいただきます。

■専門分野

哲学、死生学、教育人間学、東洋思想

■主な著書・論文

『井筒俊彦と二重の見』（ぷねうま舎）

『西田幾多郎と双面性』（ぷねうま舎）

佐々木 拓 金沢大学准教授

⑥ 11月12日【土】午後1時30分

責任と非難の倫理学：人と人との関係を／から考える

■講師、講座の紹介

私は父にとっては子供、妻にとっては夫、子どもにとっては親、友人にとっては友人、見知らぬ人にとっては？倫理学というと何か抽象的な学問のように思うかもしれませんが、実際に私たちが道徳的責任を感じたり、悪いことをした人を非難したりするのは、こうした具体的な人間関係のただなかです。人と人との「関係」を捉えなおすことを通じて、責任や非難について考えます。

■専門分野

西洋倫理学

■主な著書・論文

『ジョン・ロックの道徳哲学』（丸善出版）

伊藤 徹 京都工芸繊維大学教授

⑦ 12月3日【土】午後1時30分

夏目漱石 《だらしな自然》のリアリズム

⑧ 12月4日【日】午前10時

是枝裕和 傷ついた家族たち

■講師、講座の紹介

フライパンは目玉焼きを作るためにある。目玉焼きは食べるため、食べるのは栄養のため、栄養は働くため、働くのは……。現代世界は科学技術によって「なにかのために」という有用性に過剰に駆り立てられている。ハイデガー研究から出発した講師の伊藤先生は、現代世界を「有用性の空疎化」として特徴づけ、そのなかでの生き方を、日本近代の芸術家や知識人を手掛かりにしながら考えています。

■専門分野

哲学および日本近代精神史

■主な著書・論文

『時間のかたち』（堀之内出版）

中村 昇 中央大学教授

⑨ 2023年3月11日【土】午後1時30分

哲学とは何か？

⑩ 2023年3月12日【日】午前10時

言語とは何か？

■講師、講座の紹介

【哲学】「哲学」についてはいろいろな考え方があります。それらを吟味しつつ、西田の哲学観もふまえて、中村先生ご自身の考えをお話しいただきます。

【言語】西洋哲学では、19世紀から20世紀にかけて言語論的転回が起こり、言語の重要性が注目されました。その潮流の中心にいたウィトゲンシュタインと、構造主義や記号論に影響を与えたソシュールの言語観を中心に、言語についてお話しいただきます。

■専門分野

現代西洋哲学

■主な著書・論文

『西田幾多郎の哲学＝絶対無の場所とは何か』（講談社）

『ウィトゲンシュタイン、最初的一步』（亜紀書房）